



水稲用除草剤

ナイスミドル1キロ粒剤



除草剤分類 5,2,15

農林水産省登録	第22386号
有効成分	シメトリン（化管法1種）・・・4.5% フルセトスルフロン・・・0.22% ベンフレセート・・・6.0%
その他化管法該当成分	ドデシル硫酸ナトリウム（1種）5.1%
性状	類白色細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	4年
包装	1kg×12袋

特長

- ✓ ノビエ4葉期まですぐれた効果の中期剤
有効成分フルセトスルフロン配合により、ノビエの4葉期まで高い除草効果を示します。
- ✓ SU抵抗性雑草にも有効
SU抵抗性のホタルイおよび一年生広葉雑草（コナギ、アゼナ等）に対して安定した除草効果を示します。
- ✓ 難防除多年生雑草や雑草イネにも有効
初期剤との体系防除により、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、ウリカワ、ミズガヤツリ、エゾノサヤヌカグサのような防除の難しい多年生雑草や雑草害をもたらす栽培目的以外のイネに対しても安定した除草効果を示します。
- ✓ ゆとりのある散布適期
雑草の発生に合わせて移植後14日からノビエの4葉期までの幅広い時期に使用できます。

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ （北海道、東北、九州） ミズガヤツリ （北海道を除く） ウリカワ クログワイ（北海道、九州を除く） オモダカ（北海道、九州を除く） ヒルムシロ コウキヤガラ （東北、関東・東山・東海、九州） エゾノサヤヌカ グサ（北海道） シズイ（東北） アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後14日～ノ ビエ4葉期 但し、収穫60日 前まで	砂壤土～埴土	1 kg	1 回	湛水散布	全域（九州の普通期栽培地帯を除く）の普通期及び早期栽培地帯

【各有効成分を含む農薬の総使用回数】
シメトリン・・・2回以内、フルセトスルフロン・・・2回以内、ベンフレセート・・・2回以内
※本内容は2018年5月23日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使い切ること。
- 本剤の使用時期は、ノビエの4葉期まで、稲が4葉期（北海道は5葉期）以降なので、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレがでるので、必ず適期に散布するように注意すること。
各雑草の散布適期は次の通り。
ホタルイ・・・・・・・・・・4葉期まで
ヘラオモダカ・・・・・・・・・・4葉期（九州は発生始期）まで
ミズガヤツリ・・・・・・・・・・4葉期（北陸、近畿・中国・四国は3葉期）まで
ウリカワ・・・・・・・・・・3葉期（東北、九州は4葉期）まで
クログワイ・・・・・・・・・・草丈10cmまで
オモダカ・・・・・・・・・・矢じり葉抽出前まで
ヒルムシロ・・・・・・・・・・発生期（東北、近畿・中国・四国は生育期）まで
コウキヤガラ・・・・・・・・・・発生始期まで
エゾノサヤヌカグサ・・・・・・・・・・2葉期まで
シズイ・・・・・・・・・・草丈15cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離・・発生始期まで
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前～発生始（鞘葉抽出期）に有効なので、散布適期を失しないように散布すること。
また、必要に応じて有効な前処理剤との組み合わせで使用すること。
- 本剤は移植前後に使用する除草剤との体系で使用する。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、生育段階によって効果にフレがでるので、有効な後処理剤との組み合わせで使用。また、オモダカ、クログワイは有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
- シズイは発生期間が長く、生育段階によって効果にフレがでるので、有効な前処理剤との組み合わせで使用。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め、湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（3～5cm）を保ち、田面を露出させないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ・砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）
 - ・軟弱な苗を移植した水田
 - ・極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので、使用をさけること。
- 著しい高温条件では薬害を生じることがあるので使用をさけること。また、散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- 本剤を散布した水田の田面水をを他の作物に灌水しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- 夏期高温時は使用をさけること。

魚毒性等

- ・水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- ・水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ・散布後は水管理に注意すること。
- ・散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。